

中野香余
自民党市議団・無所属の会

### がまごおり「みらいキャンバス」について

**問** **整備方針を伺う。**

**答** 図書館や市民会館などを複合化し、市民の居場所や活動拠点を市民と共に創り「学びの循環」が生まれる場として整備していく。

**問** **DBO方式導入のメリットを伺う。**

**答** 設計・建設・維持管理・運営を一括して民間企業に委ねることで、維持管理や運営に必要とする性能や機能を効果的に設計に反映でき、工期短縮や事業費縮減も期待できる。

**問** **大型投資事業の見直し表明があったが、開館時期に影響はあるか伺う。**

**答** 機能・性能は維持した上で面積縮減により事業費を圧縮する考えである。令和13年度末開館を目指している。

### 東港地区の開発事業について

**問** **整備目的を伺う。**

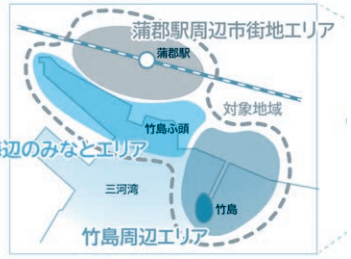
**答** 港を身近に感じられる玄関口、歩いて過ごせる居心地の良さ、次世代につなぐ風景、夜間景観、地域活動の担い手が挑戦できる環境をつくるものである。

**問** **みなと緑地PPP制度導入の目的を伺う。**

**答** 民間企業が商業施設を運営し収益の一部を緑地維持等に還元することで魅力的な港湾緑地の形成を図る。

**問** **大型投資事業の見直しとの関係を伺う。**

**答** 見直しに伴い、段階整備で財政負担の平準化を検討する。



東港地区（同まちづくりビジョン概要版より）

# 令和7年度一般会計決算などを議決

９月定例会 議案

９月市議会定例会は、９月２日から18日までの17日間の会期で開き、議案24件、意見書案１件を審議しました。

その主な内容をお知らせします。

## ９月定例会 決算審査特別委員会から

令和7年度一般会計決算など11会計決算は、16人の委員からなる決算審査特別委員会（委員長新実祥悟、副委員長千賀充能）を９月２日に設置し、11日及び14日から16日までの４日間にわたり審査しました。

決算審査特別委員会での主な質疑は、次のとおりです。

◎一般会計

**歳出前年度比105・5％**

一般会計の歳出は、前年度比105・5％で、歳入は同107・2％でした。

一般会計の歳入から歳出を引いた額は、23億4184万円ですが、この中には翌年度に繰り越すべき財源の3億2883万円が含まれています。

これを除いた実質収支額は19億7535万円の黒字です。

■歳出
●総務費

**交通安全対策検討支援委託料**

**問** 事業内容を伺う。

**答** 一般車等の走行ビックデータから取得する車速・急減速等のビッグデータと、警察庁が所有する交通事故データを組み合わせて分析・解析し、小中学校区ごとの危険箇所を示したヒヤリハットマップを作成した。

**問** ヒヤリハットマップの活用方法を伺う。

**答** 児童生徒が普段利用している通学路において、危険箇所がどこに存在しているかなどを認識してもらうとともに、児童生徒等が活用できるよう、小中学校ごとに作成したヒヤリハットマップを校内掲示用の紙媒体のものと、タブレットで閲覧できるデジタル媒体のものを本年４月初旬に配布した。また、市内11か所の公民館において、それぞれの中学校区ごとに作成した紙媒体のヒヤリハットマップの掲示や、市ホームページでの公開も行っている。